

浄水型ウォーターサーバー 取扱説明書

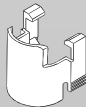

型番 HC22D2L-PW-WB
HC22D2S-PW-WB

もくじ

	ページ
●安全上の注意	1~2
●各部の名称	3~4
●製品仕様	5
●初回設置の手順	6~9
●使用方法	10
●浄水カートリッジ交換方法	11~12
●定期的な清掃のお願い	13~15
●その他の注意点	16~17
●故障かな!?と思ったら	18
●Q&A	19

**この「取扱説明書」は
設置前（電源を入れる前）に
必ずお読みください。**

付属品確認のお願い

- 浄水タンクセット：1 セット
- 取扱説明書：1 部（本書）
※浄水タンクセット内に付属しています。
- ◆以下のものはウォーターサーバーに付属しています。
- ダブルロックカバー：1 個 
- 予備クリーンキャップ：2 個 

 **Locca**
by PREMIUM WATER





上記同梱物をご確認の上、欠品・破損等ございましたら、本書に記載の問合せ先までご連絡ください。

この「取扱説明書」は、設置前に必ずお読みください

設置前によくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。





安全上の注意(必ずお守りください)

お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みの上、正しくお使いください。








表示の説明		図記号の説明	
 警告	「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。	 禁止	「してはいけない(禁止)」を示します。
 注意	「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。	 指示	「しなければならない(指示)」を示します。

本製品は日本国内用に設計されています。規格の異なる海外では使用できません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

■設置するときは









⚠ 警告(漏電・火災・怪我等の原因となります。)	
	●ウォーターサーバーは室内の直射日光が当たらない場所に設置する 機能の低下・漏電の原因になります。
	●床が丈夫で水平なところへ設置する 不安定な場所はウォーターサーバーが倒れる原因になります。
	●湿気の多い場所・水気のある場所で使うときはアース(接地)・漏電遮断器を取り付ける お近くの電気工事店へご相談ください。
⚠ 注意	
	●ウォーターサーバーを設置・移動する際は、製品の角等でけがをしないように注意する 手袋の着用をおすすめします。

■電源のプラグやコードは














⚠ 警告(感電・火災・火傷等の原因となります。)	
	●傷つけない・束ねない
	●定格 15A、交流 100V のコンセントを単独で使う
	●たこ足配線はしない
	●背面の掃除をおこなう場合、電源プラグをコンセントから抜く
	●定期的に電源プラグに付いたほこりを乾いた布で拭き取る
	●ぬれた手で電源プラグを抜き差しはしない
	●電源コードが傷んでいた場合は使用しない

安全上の注意(必ずお守りください)

■お使いのときは

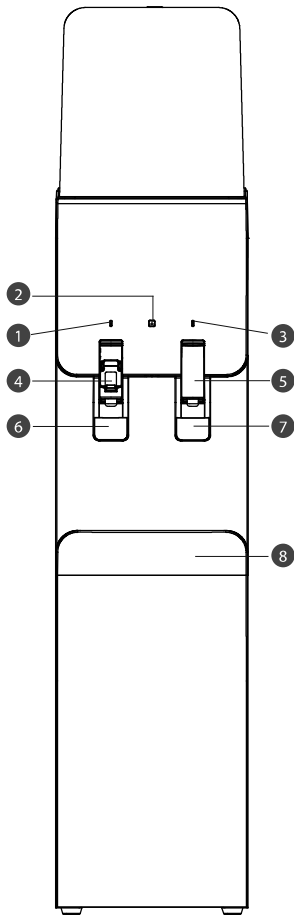
 警告(感電・火災・火傷等の原因となります。)	
	●温水は高温のため火傷に注意する お子様が温水コック・レバーに触れないように注意してください。
	●排水口は通常使用しない 誤って操作すると水漏れや火傷の原因になります。
	●コックのレバーを手前に引いたり持ち上げない・手順以外の使用はしない
	●ガラスのコップに温水を注がない
	●ガラスのコップで出水する際は、コップの破損に注意する コップをコックのレバーに強く押し付けたり、落としたりすることで、ガラスが割れないようご注意ください。
	●ウォーターサーバー背面の放熱板に触らない 高温により火傷の恐れがあります。
	●分解・改造・修理をしない 衛生面に悪影響を及ぼしたり、ウォーターサーバーの故障や水漏れの原因になります。

■その他

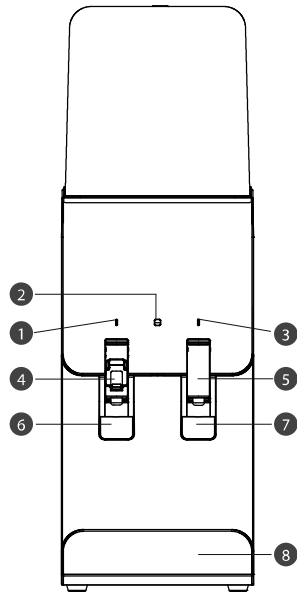
 注意	
	●ウォーターサーバー設置・移動後は1時間以上置いてから電源を入れる 冷蔵庫と同じで冷却触媒を安定させるための時間です。
	●ウォーターサーバーの背面・左右側面と壁の間は15cm以上離して設置する 熱がこもり機器の機能が低下する恐れがあります。また静電気により壁・カーテンが黒く汚れる恐れがあります。
	●冷水・温水コックのレバー部分を持って移動させない 破損したり、けがの恐れがあります。
	●ストーブ等の熱源の近くに設置しない 機器の変形・機能低下の原因になります。
	●初回はタンクに給水後、出水を確認してから電源プラグをコンセントに差す 冷水・温水コックから出水を確認した後、温水スイッチをONにしてください。故障の原因になります。
	●浄水タンクに35℃以上の温水を入れない 活性炭の機能が低下し、吸着した臭いなどが浄水に出てくる恐れがあります。
	●浄水カートリッジを分解しない 分解すると正常にご使用できません。
	●ウォーターサーバーのまわりに水に弱いものを置かない(電子機器・時計・革製品・書籍など) まわりに置いた物が故障・破損する恐れがあります。
	●温水スイッチは必ずONにした状態で使用する 温水スイッチがOFFの場合、本体内部が不衛生となり雑菌により臭いを発することがあります。
	●水道法の水質基準に適合した水を使用する 体調を損なう恐れがあります。
	●定期的に放熱板の清掃をする 冷却効果が下がる恐れがあります。※火傷防止のため電源を切り、熱を冷ましてから清掃をおこなってください。
	●冷水・温水を定期的に使用する 冷水・温水コックから定期的に出水することにより、内部タンクの水が循環します。水の滞留は避けてください。

各部の名称

前面

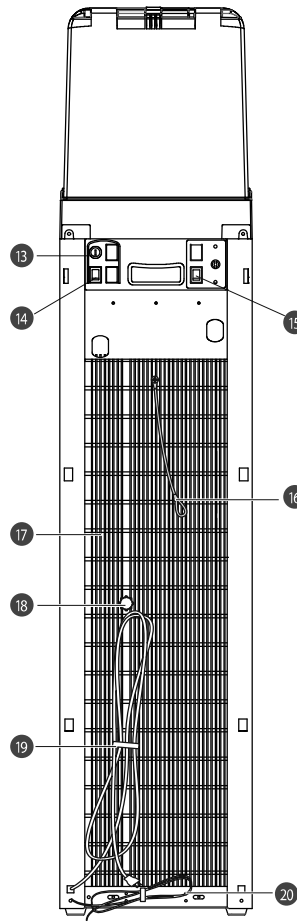


ロングタイプ

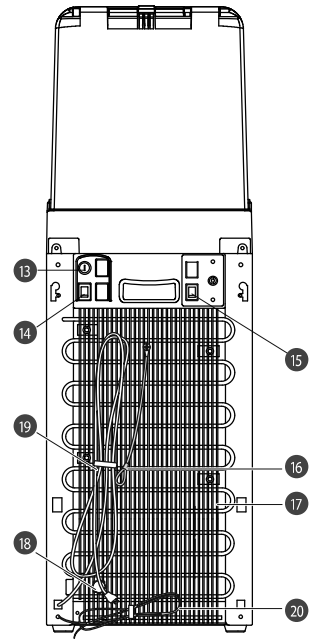


ショートタイプ

背面

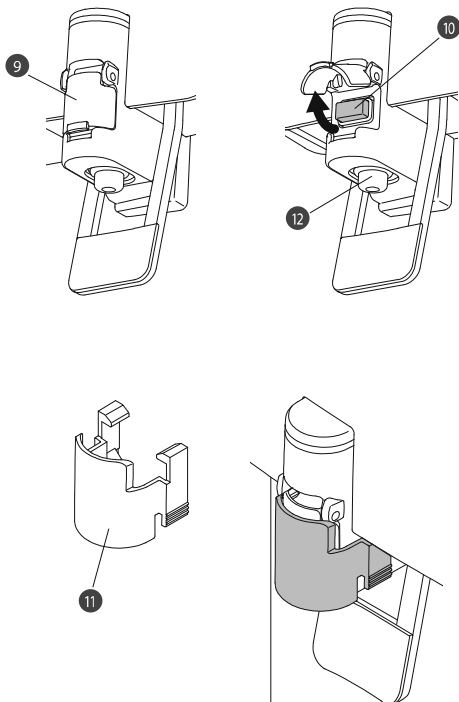


ロングタイプ

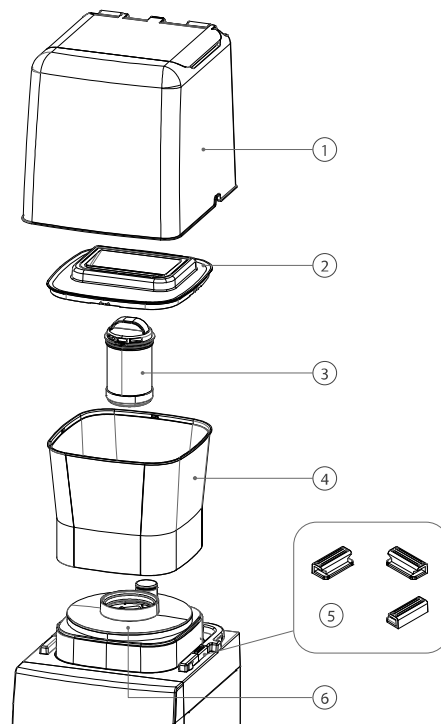


ショートタイプ

温水出水部分



浄水タンクセット



前面

- ① 温水ランプ
- ② エコセンサー
- ③ 冷水ランプ
- ④ 温水コック
- ⑤ 冷水コック
- ⑥ 温水レバー
- ⑦ 冷水レバー
- ⑧ 水受け皿

出水部分

- ⑨ チャイルドロックカバー
 - ⑩ チャイルドロックボタン
 - ⑪ ダブルロックカバー
- ※⑨～⑪は温水側のみです。
- ⑫ クリーンキャップ

背面

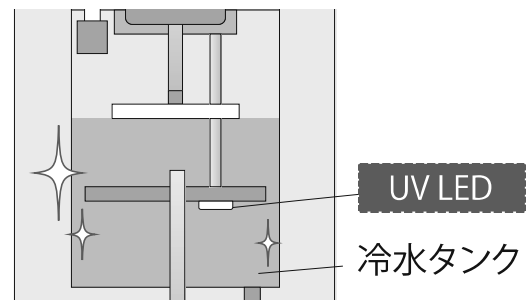
- ⑬ ヒューズ
- ⑭ エコモードスイッチ
- ⑮ 温水スイッチ
- ⑯ 転倒防止ワイヤー
- ⑰ 放熱板
- ⑱ 排水口
- ⑲ 電源コード
- ⑳ アース線

浄水タンクセット

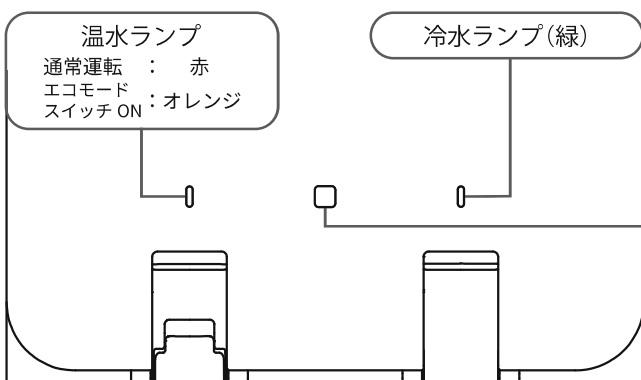
- ① 浄水タンクカバー
- ② 浄水タンク蓋
- ③ 浄水カートリッジ
- ④ 浄水タンク
- ⑤ 固定ピン(3個)
- ⑥ サブタンク

UV 殺菌灯について

本製品は、冷水タンク内に
UV 殺菌灯を内蔵しています。



■ 前面ランプ・エコセンサー



エコセンサー

※光りません。

エコモードスイッチをONにすると
光を感知するセンサーで、
暗闇になると温水の電力を抑える
エコモードをご利用いただけます。

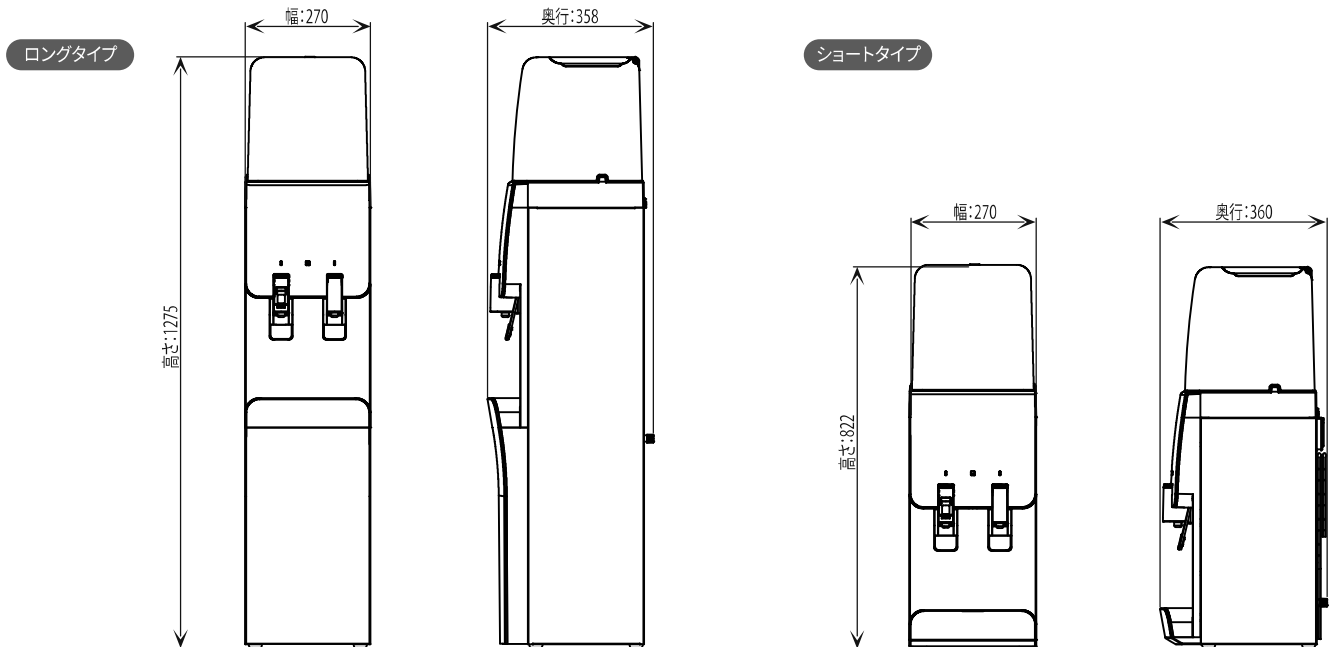
製品仕様

製品仕様一覧表

製品名		浄水型ウォーターサーバー	
型番	ロングタイプ / HC22D2L-PW-WB	ショートタイプ / HC22D2S-PW-WB	
本体寸法	高さ×幅×奥行	1,275mm × 270mm × 358mm	822mm × 270mm × 360mm
本体重量 (浄水タンク部含む)		20.5kg	17.5kg
定格電圧	AC100V / 50 ~ 60Hz		
電源コード	1.7m		1.6m
定格消費電力	冷却 / 加熱	80W / 350W	
殺菌灯電力 (冷水タンク)	4mW		
材質	浄水タンク	ポリスチレン・ポリプロピレン・シリコンゴム・エチレンプロピレンゴム・ステンレス	
	カートリッジ	ポリプロピレン、シリコン、活性炭	
	冷水・温水タンク	ステンレス	
	本体パネル	前面：ABS / 側面：冷延鋼板	
	コック	ポリプロピレン、シリコン	
浄水タンク容量 / サブタンク容量	4.5L / 1.85L		
冷水機能	タンク容量	2.3L	
	出水温度	約 6°C	
	方式	強制冷却式	
温水機能	タンク容量	1.8L	1.35L
	出水温度	約 85°C	
	方式	シーズヒーター	
冷媒	R-134a		
温度過昇保護装置 (安全装置)	パイメタル		
使用環境温度	5°C ~ 35°C		
使用流体	水道法水質基準に適合した水		
ろ材の種類	活性炭		
ろ過流量	0.45L / 分		
ろ材の交換時期の目安	6 か月 (1日 3.3L 使用の場合)		
使用上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ●水道法の水質基準に適合した水をお使いください。 ●井戸水では使用しないでください。 ●新しいカートリッジの使用開始時は、取扱説明書に記載の P.7「初回設置の手順」または P.11「浄水カートリッジの交換方法」をご確認ください。 ●ろ材の交換時期の目安は、使用水量、水質、水温等により異なります。 ●35°C以上の温水をろ過しないでください。 ●浄水のみ置きはしないで早めにお使いください。 ●凍結の恐れのある場所には設置しないでください。 ●養魚用等には使用しないでください。 ●使用済みの浄水カートリッジは、プラスチックゴミとして廃棄してください。 		
浄水能力	総ろ過水量 600L 除去率 80% JIS S 3201 試験結果	<ul style="list-style-type: none"> ・遊離残留塩素 ・クロロホルム ・ブロモジクロロメタン ・ジブロモクロロメタン ・ブロモホルム ・シス -1,2- ジクロロエチレンおよびトランス -1,2- ジクロロエチレン ・テトラクロロエチレン ・トリクロロエチレン ・ベンゼン ・総トリハロメタン ・CAT (農薬) ・2-MIB (カビ臭) ・溶解性鉛 ・陰イオン界面活性剤 ・フェノール類 ・ジェオスミン 	
	総ろ過水量 600L 除去率 80%	<ul style="list-style-type: none"> ・有機フッ素化合物 (PFOS/PFOA) ・四塩化炭素 ・1,1,1- トリクロロエタン 	
総ろ過水量 100L 除去率 80%	<ul style="list-style-type: none"> ・アルミニウム ・鉄 (溶解性) ・水銀 ・1,2- ジブロモ -3- クロロプロパン ・ダイアジノン ・エチルベンゼン ・キシレン ・トルエン ・ジクロロアセトニトリル 		

※製品改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

製品寸法図



[単位:mm]

初回設置の手順

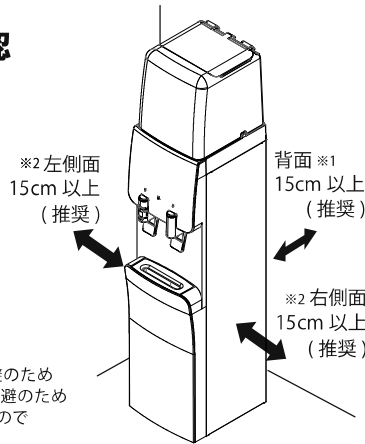
1 設置場所の確認

設置場所をご確認ください。

●設置に必要なスペース

正面	開放
背面※1	15 cm以上
左側※2	15 cm以上
右側※2	15 cm以上

※1 冷却性能の保持、電気焼け(壁変色)回避のため
 ※2 水補給スペースの確保、反響・共振音回避のため
 ※設置状況により若干異なることがありますので
 余裕をとってください。



○	設置できる場所
	・床が丈夫で水平なところ
×	設置できない場所
	<ul style="list-style-type: none"> ・傾斜がある場所 ・床の強度が弱い場所(畳、クッションフロア、絨毯など) ・通路や防災機器(消火器)の使用を妨げる場所 ・直射日光が当たる場所 ・熱器具の近く ・水のかかる場所 ・屋外

⚠設置環境の注意

においの強いものの近くに設置すると、水においが移る可能性があります。

- 芳香剤 洗剤 タバコ 線香 等

⚠移動時の注意

ウォーターサーバー移動時は、正面のコックの間付近と背面の移動用取っ手をしっかり持っておこなってください。傷つきやすい床の上では、ウォーターサーバーを滑らせたり、引きずって移動させないでください。



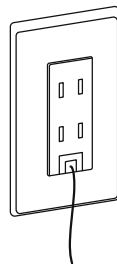
⚠ 注意
冷却触媒を安定させるため、ウォーターサーバーが届いても1時間は電源を入れないでください。また移動したときも同様です。

2 アース線の取付方法

感電事故防止のために、アース線の取付けをおすすめします。

■電源コンセントにアース端子がある場合

アース線の先端をアース端子に取付けてください。現在ご使用中の電化製品(エアコン・冷蔵庫・電子レンジ・洗濯機等)と一緒に、アース端子を共用接続していただくこともできます。



□電源コンセントにアース端子がない場合

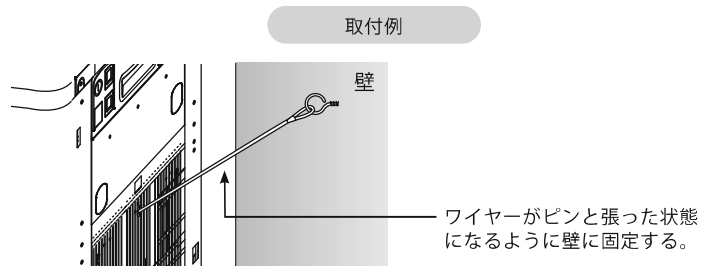
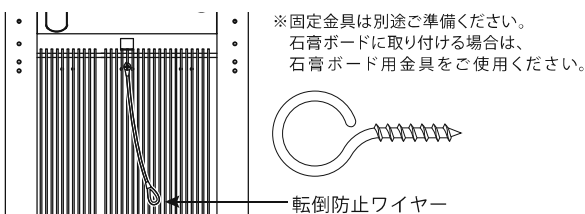
お近くの電気工事店へご相談ください。

⚠ 取付時の注意
ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線とは共用接続しないでください。

3 転倒防止ワイヤーの取付方法

地震や振動による転倒を防止するため、ウォーターサーバー背面に付いている転倒防止ワイヤーを壁に取付けてご使用ください。

※すべての地震に対しての効果を保証するものではありません。

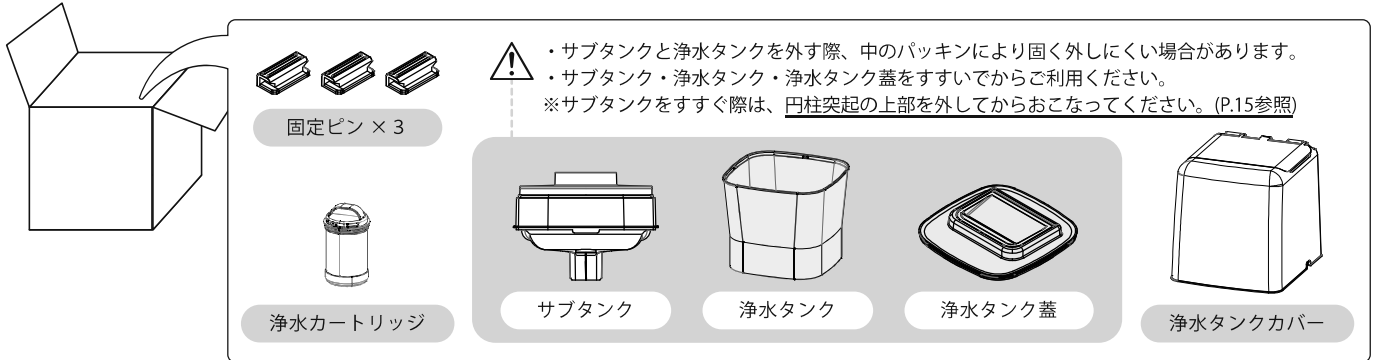


初回設置の手順(つづき)

4 浄水タンクセットの準備と取付方法

① 浄水タンクセットを別梱包箱から出して、全部品がそろっているかご確認ください。

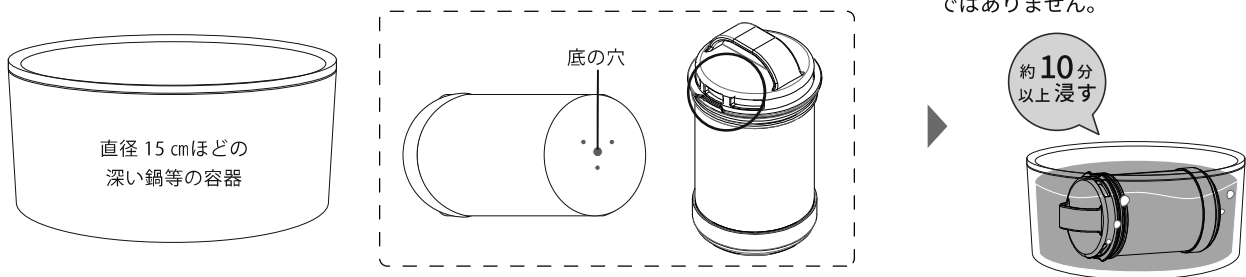
※開梱時は、サブタンクと浄水タンクが組み合わさった状態になっております。



② まず、浄水カートリッジを包装から外し水道水に浸します。

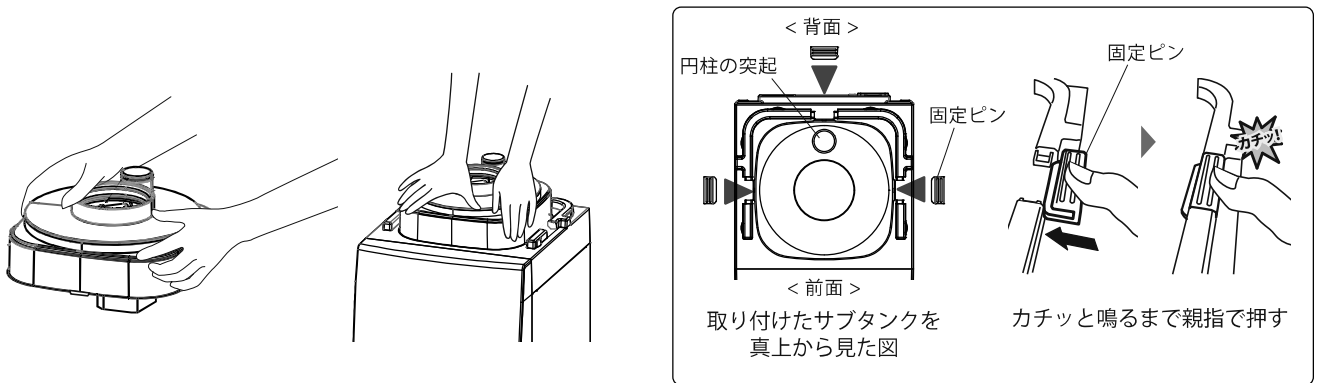
浄水カートリッジ全体を横にして入る直径 15 cm ほどの深めの容器をご用意ください。
 水に浸かると底の穴と○の部分から中の空気が抜けていきます。
 中のフィルターに水を浸透させるため、数分間清潔な指またはスプーン等で押さえてください。
 空気が出なくなってから約 10 分以上は浸しておいてください。

※水に黒い粉(活性炭粒子)が出る場合があります。本製品の活性炭は、食品添加物の規格を満たしたものを使用しており、危険物・有害物ではありません。



③ ウォーターサーバー本体の天面にサブタンクを取付けます。

本体天面のフィルムを外したら、サブタンクの円柱型の突起を本体の背面側にしてゆっくり押さえながらはめ込みます。本体に**サブタンクがしっかりとまりましたら**3か所に固定ピンを付けてください。



④ 取付けたサブタンクの上に、浄水タンクをセットします。

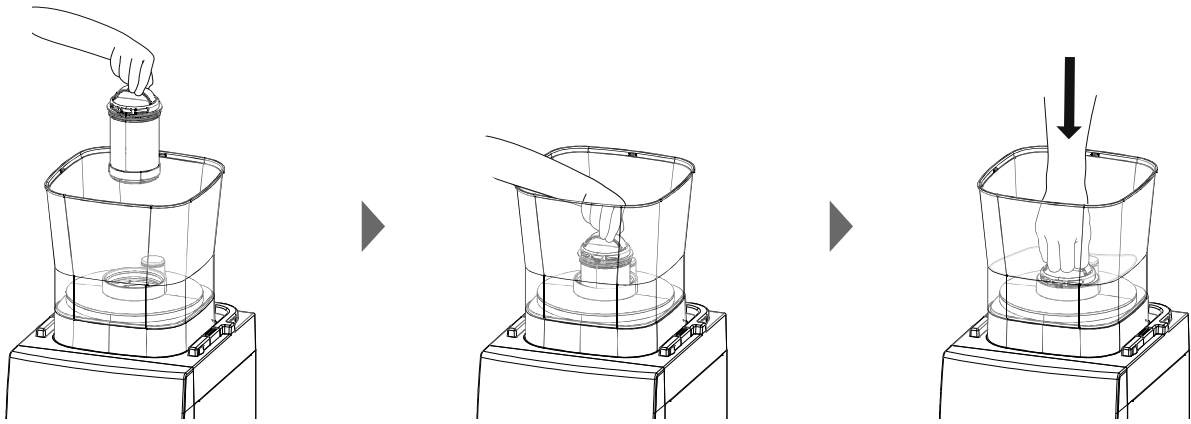
※取付前に軽くすすぎ洗いをしてください。
 ※浄水タンクに前後左右の向きはありません。
 ※浄水タンクのパッキンがよじれていないか確認ください。



⚠ 注意

隙間が広いと水漏れの可能性があります。

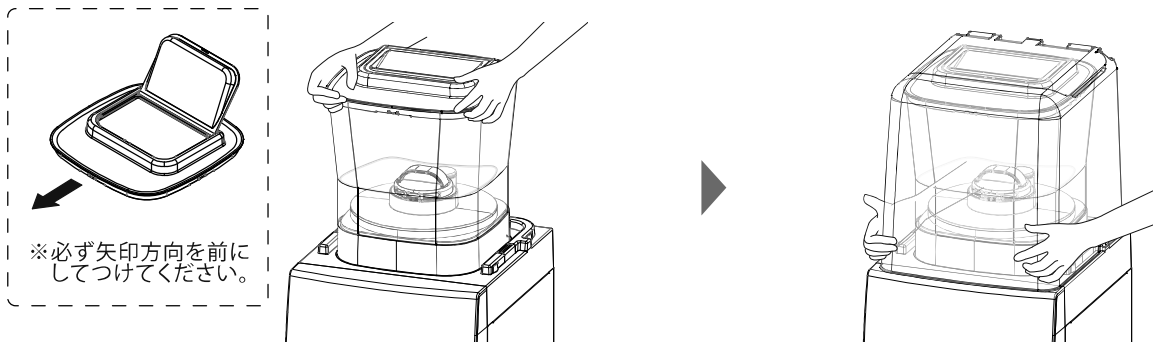
⑤P.7の②で約10分以上水に浸した浄水カートリッジを浄水タンクの底に挿入します。



△ 注意

浄水カートリッジを上からグッと押し込んでください。

⑥浄水タンク蓋をつけ、浄水タンクカバーをかぶせます。



5 浄水タンクに水道水を補給

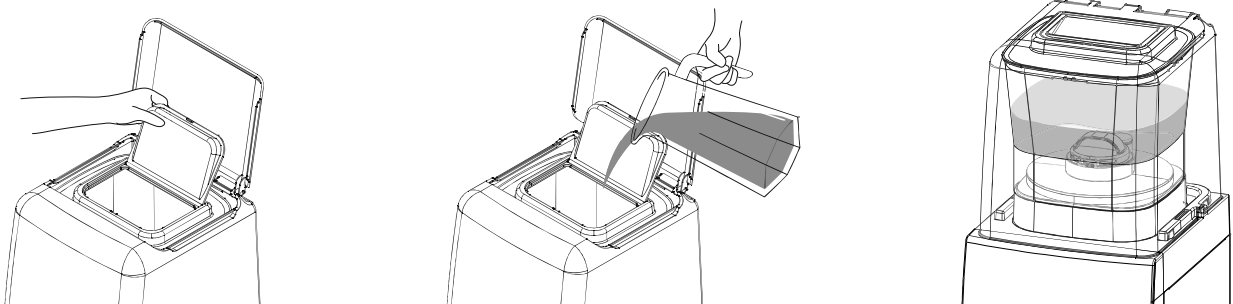
①浄水タンクカバーの開閉蓋と、浄水タンク蓋の開閉蓋を開けます。

②浄水タンクにピッチャー等の容器を使用して水道水を注いでください。約15分待つと中の水がほぼ空になります。

※浄水タンク容量は約4.5リットルです。ウォーターサーバーの容量は約5.5～6リットルです。

③再度、浄水タンクの1/2まで補充し約5分待ちます。水漏れしていないか確認し、出水確認をおこないます。

※サブタンクにある円柱の突起部から水漏れしている場合は、P.19下の問合せ先までご連絡ください。上記以外の水漏れの場合は、P.9の出水操作で浄水タンクを空にして、P.7④のセットを再度おこなってください。

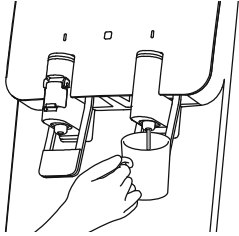


初回設置の手順(つづき)

6 出水の確認

①冷水コックから水が出ることを確認してください。

※衛生的にご利用いただくために、コップ2杯程度を捨て水としてください。



レバーを押すと出水します。

②温水コックから水が出ることを確認してください。

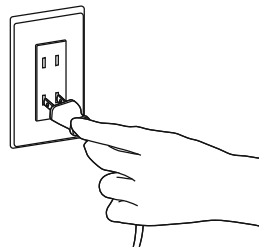
※衛生的にご利用いただくために、コップ2杯程度を捨て水としてください。



△ 注意

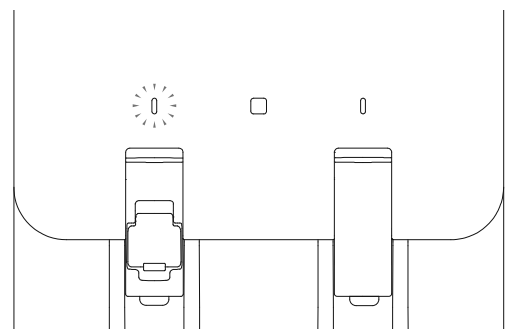
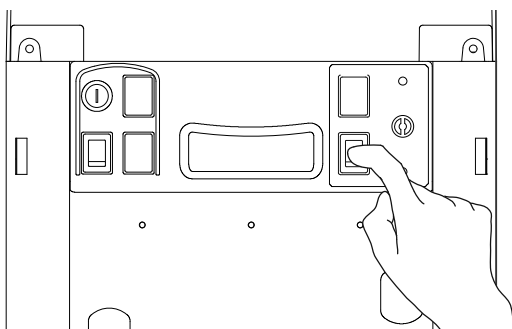
温水が出ない場合、ウォーターサーバー本体のタンクの水が不足している可能性があります。P.8 **5-③**をおこなってください。

③冷水・温水コックより出水されたことを確認後、電源プラグをコンセントに差し込みます。



④背面の温水スイッチ（赤）をONにします。

（正面の温水ランプが赤く点灯したのをご確認ください。） ※温水スイッチ（赤）は必ずONの状態でご使用ください。



※エコモードの場合は、オレンジ色に光ります。

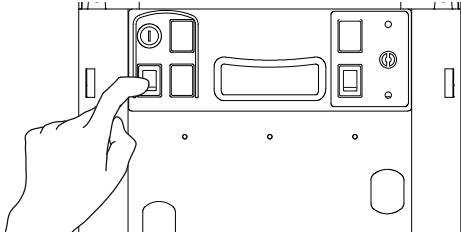
約40分後に冷水・温水とも適温になります。

使用方法

エコモードについて

夜間や日中のご不在時等ウォーターサーバーを利用しない場合は、温水タンクの電力を抑えるエコモードをご利用いただけます。

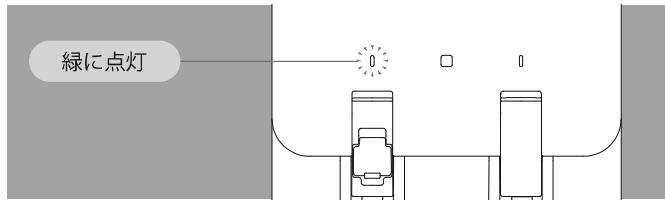
①背面のエコモードスイッチ（白）をONにします。



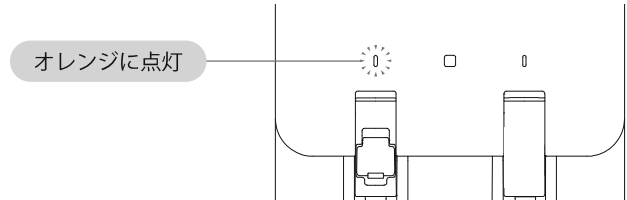
△ 注意

- ・お部屋が明るくなった直後は、温水がぬるい場合がございます。
- ・常時暗いお部屋ではご利用をお控えください。

②お部屋が暗くなると、温水ランプは緑に点灯しエコモードになります。



③お部屋が明るくなると、緑ランプはオレンジに変わり、温水ヒーターが作動します。

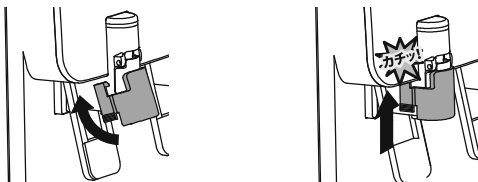


ダブルロックカバーについて

小さなお子様の安全対策用のカバーです。

取付方法

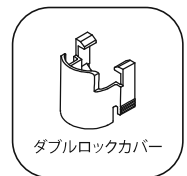
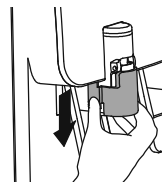
- ①ダブルロックカバーを前方から差し込みます。
- ②カチッとロックするまで上方向へスライドします。



取外方法

カバー横のつまみ（四本線）を指でつまみながら引き下げます。

※取り外したダブルロックカバーは、お子様の手の届かないところに保管してください。

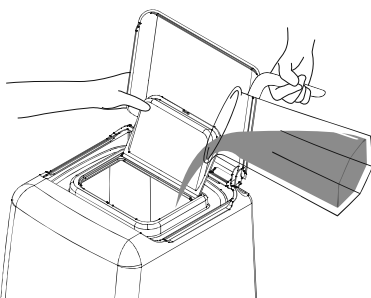


注ぎ足しについて

浄水タンクの水の高さが半分以下になりましたら、水道水を入れてください。

浄水タンクカバー・タンク蓋の開閉蓋を開けて、浄水タンクにピッチャー等の容器を使用して水道水を注いでください。

※浄水タンク容量は約 4.5 リットルです。



△ 注意

- ・タンク内が空になると水が出ないことがあります。
- ・一度浄水カートリッジに通水した後、長時間浄水タンクを空のまま放置すると、浄水性能劣化や雑菌が繁殖する恐れがあります。
- ・浄水タンク内の水を滞留させないでください。長期間不在の場合は、P.19のQ4を参照ください。
- ・定期的に浄水タンクの洗浄と、浄水カートリッジの水洗いをしてください。(P.13【定期的な清掃のお願い】参照)

浄水カートリッジの交換方法

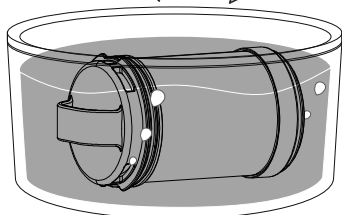
契約内容に沿って、定期的に浄水カートリッジをお送りいたします。

①専用の浄水カートリッジの包装を外し、水道水に浸しておきます。

浄水カートリッジ全体を横にして入る直径 15 cm ほどの深めの容器をご用意ください。水に浸かると空気が抜けていきます。中のフィルターに水を浸透させるため、数分間清潔な指または、スプーン等で押さえてください。空気が出なくなってから約 10 分以上は浸しておいてください。

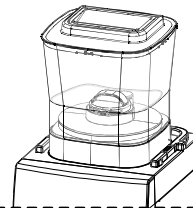
直径 15 cm ほどの
深い鍋等の容器

約 **10 分**
以上浸す



※ 水に黒い粉(活性炭粒子)が出る場合があります。本製品の活性炭は、食品添加物の規格を満たしたものを使用しており、危険物・有害物ではありません。

浄水タンクを空に
しておきましょう

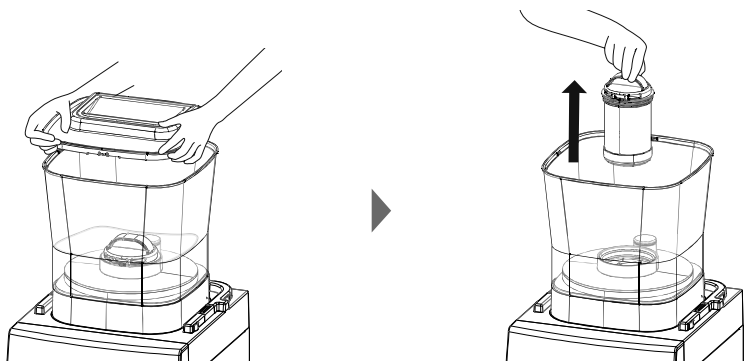


⚠ 注意

- 水道水に浸す時間が短いと、ろ過するスピードが遅くなる場合があります。
- 浄水カートリッジを取り除く前は、必ず浄水タンクの水を空にしておいてください。

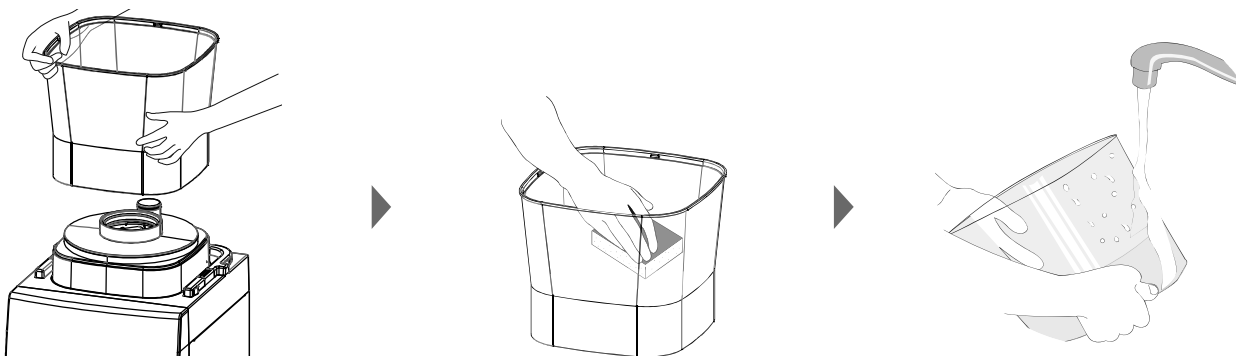
②使用済みの浄水カートリッジを取り除きます。

浄水タンクの水がないことを確認したら、浄水タンクカバーと浄水タンク蓋を外し、使用済みの浄水カートリッジを取り除いてください。



使用済みの浄水カートリッジは、
プラスチックゴミとして廃棄してください。

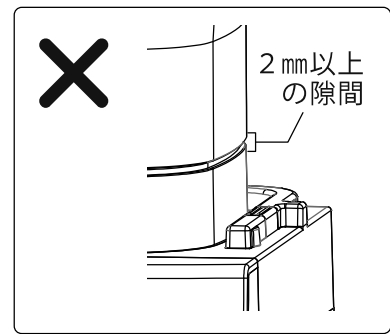
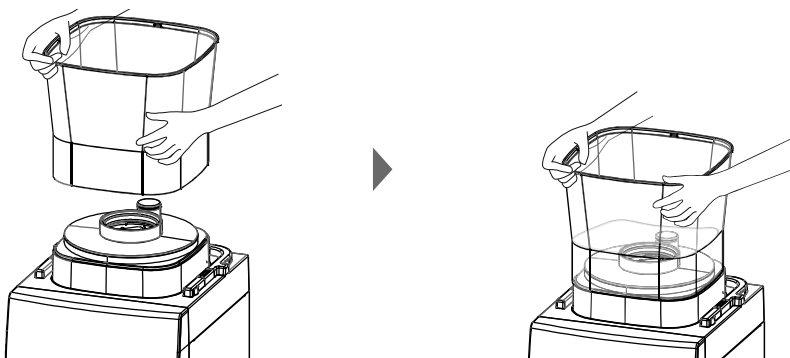
③浄水タンクを取り外し、中性洗剤または水できれいに洗浄してください。



⚠ 注意

浄水タンクを洗浄する際は、クレンザーや研磨剤等は使用しないでください。

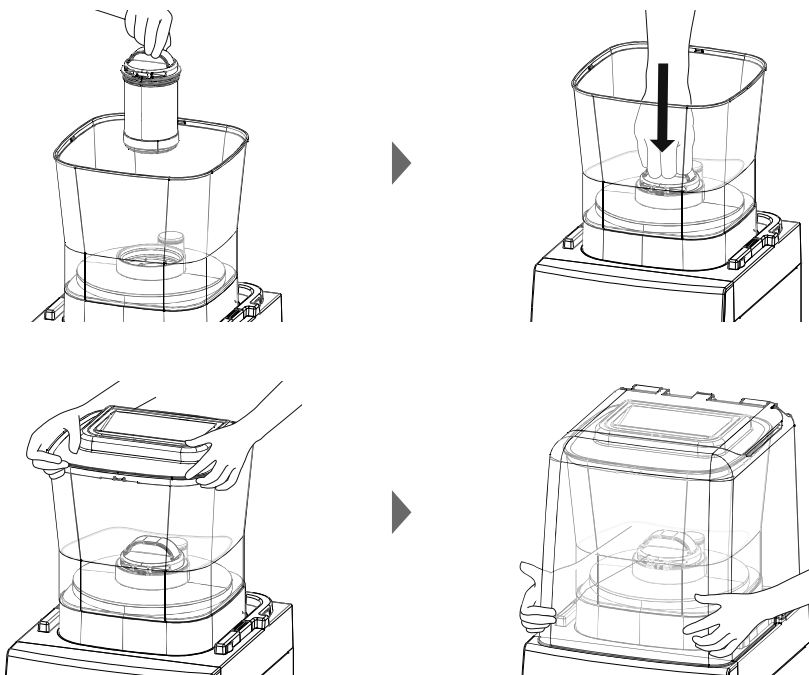
④ 浄水タンクをセットします。



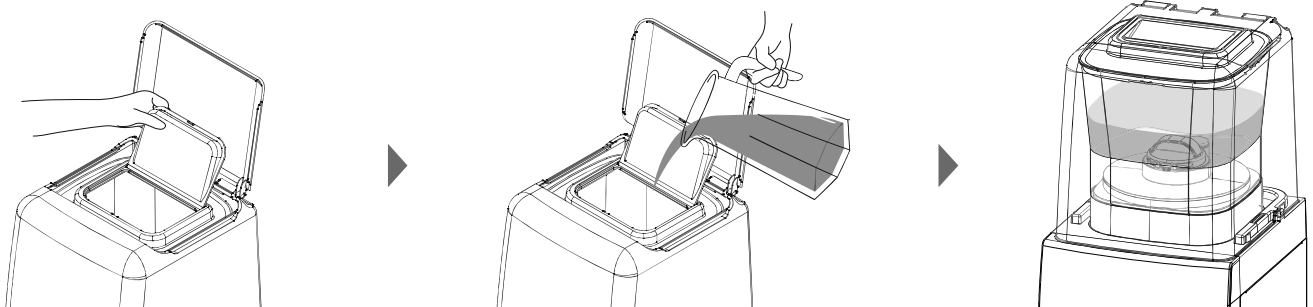
△ 注意

隙間が広いと水漏れの可能性があります。

⑤ ①で浸した浄水カートリッジをセットし、浄水タンク蓋・カバーを付けます。



⑥ 浄水タンクにピッチャー等の容器を使用して水道水を注いでください。

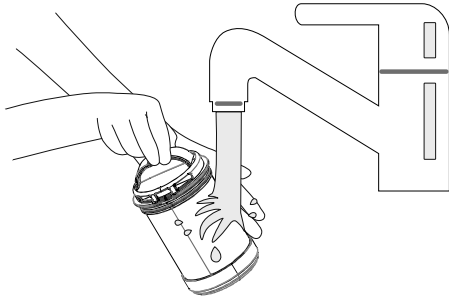


定期的な清掃のお願い

浄水カートリッジ

1 週間毎の清掃

浄水タンク内の水がなくなったら、速やかに取り出して流水で水洗いをしてください。

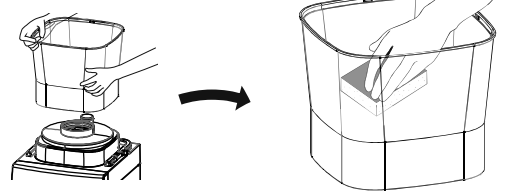


※洗剤で洗わないでください。

浄水タンク

1 週間毎と浄水カートリッジ交換時の清掃

浄水タンクを取り外し、中性洗剤または水できれいに洗浄してください。



※水漏れやタンクの破損を未然に防ぐため、使用中または使用済みの浄水カートリッジを必ず先に取り除いてからおこなってください。

※クレンザーや研磨剤等は使用しないでください。

冷水・温水コック出水口

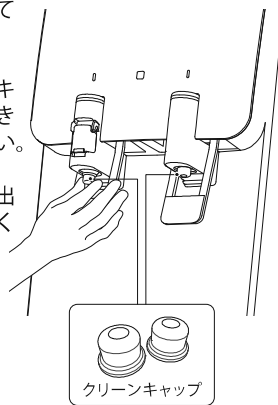
1 週間毎の清掃

出水口は常に湿っており、空気中のちりやホコリが付着しやすくなっています。

長い間放置しておくと、異物となってコップに落ちることがあります。

汚れが気になりましたら、クリーンキャップを回すと取り外せますので、きれいに洗い流して拭き取ってください。

クリーンキャップを取り外した後の出水口もブラシ等で定期的に清掃してください。



※温水コックをお手入れする際は、火傷に十分ご注意ください。

クリーンキャップ

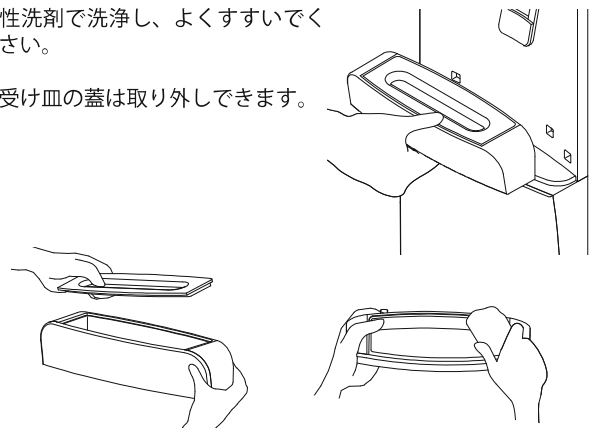
水受け皿

1 週間毎の清掃

水受け皿本体は、手前方向に引けば簡単に外れます。

中性洗剤で洗浄し、よくすすいでください。

水受け皿の蓋は取り外しできます。

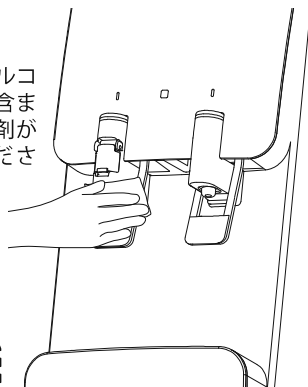


冷水・温水コック周辺

1 週間毎の清掃

清潔なふきんや、キッチンペーパー等を濡らして汚れを拭き取ってください。

(汚れがひどい場合は、市販のアルコール系衛生剤または中性洗剤を含ませたスポンジ等で取り除き、洗剤が残らないよう、よく拭いてください。)



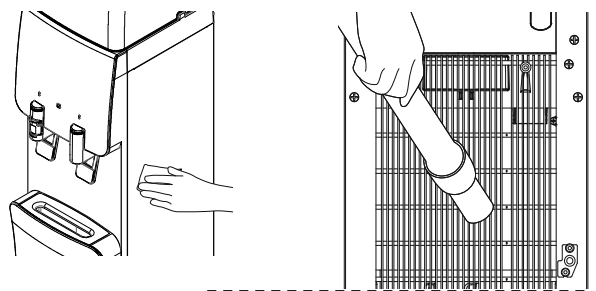
※温水コック周辺を清掃する際は、火傷に十分ご注意ください。

本体と背面部分

1 か月毎の清掃

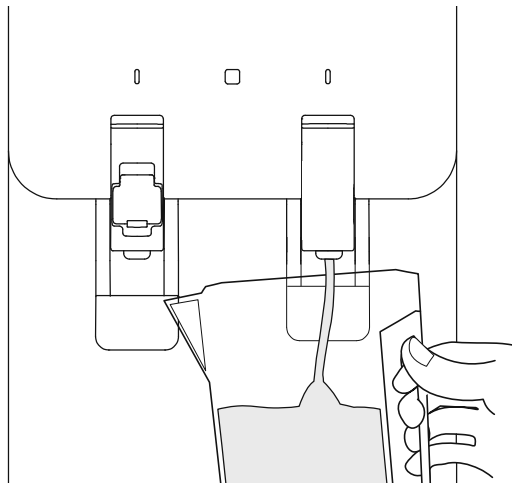
本体は、清潔なふきんやキッチンペーパー等を濡らして汚れを拭き取ってください。

背面は、付着した綿ホコリ等を掃除機で吸い取った後、水を含ませた柔らかい布等をよく絞り、拭いてください。

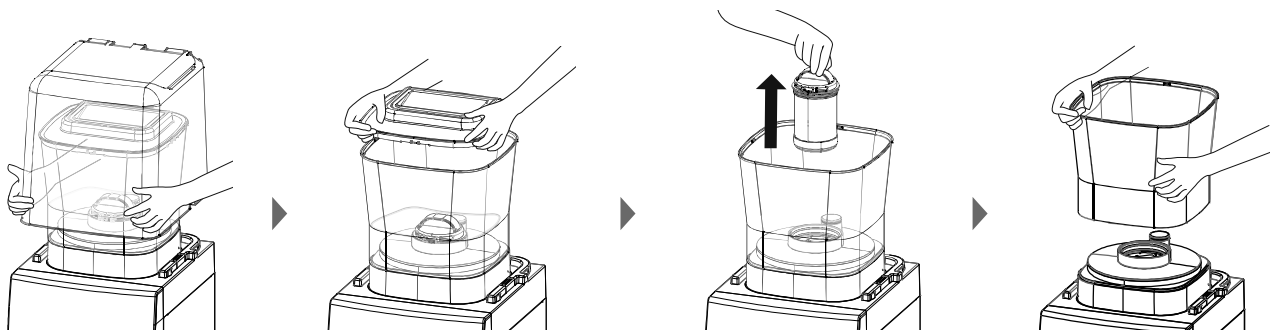


※高温による火傷防止のため、電源プラグを抜いて、しばらくたってからおこなってください。

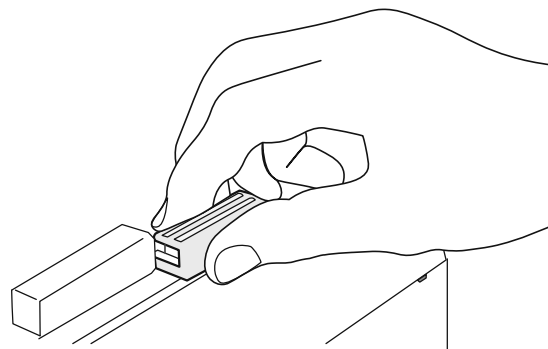
①サブタンク内の水を空にするため冷水コックから 水が出なくなるまで出水してください。



②浄水タンクカバー、浄水タンク蓋を取り外します。 浄水カートリッジ、浄水タンクを取り外します。



③3か所についている固定ピンをはずします。



⚠ 注意

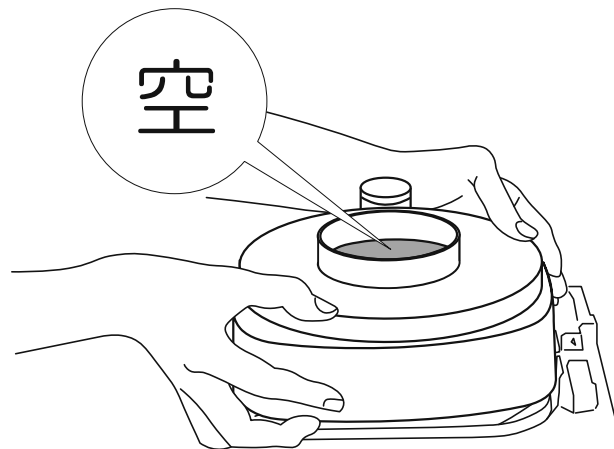
取り外しの際は、爪剥がれにご注意ください。

P.15 のつづきに進んでください。 ➡

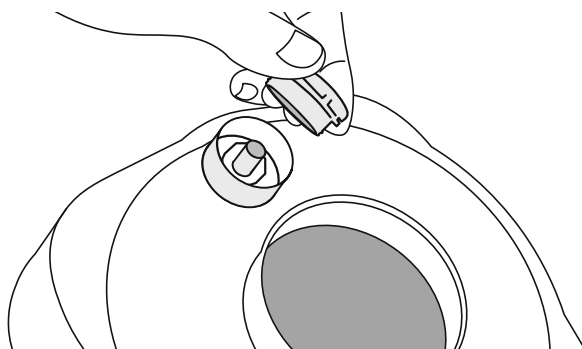
サブタンク ※1週間以上ご利用がない場合はご利用前に洗浄してください。

1か月毎の清掃

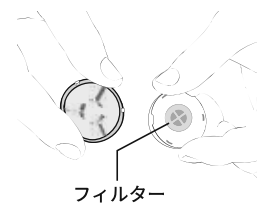
- ④サブタンク内の水がなくなっていることを確認し、取り外します。
※中に水がある場合は、冷水コックから水を出し切ってください。



- ⑤洗浄する前に、円柱の突起「エアイベント」の上部を外します。



エアイベント上の蓋が外れてしまった場合は、フィルターを紛失しないよう、図の位置に戻し閉じてください。

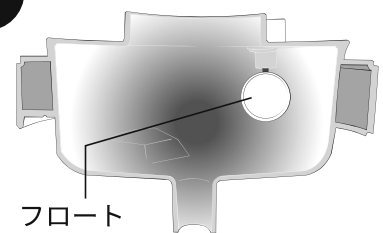
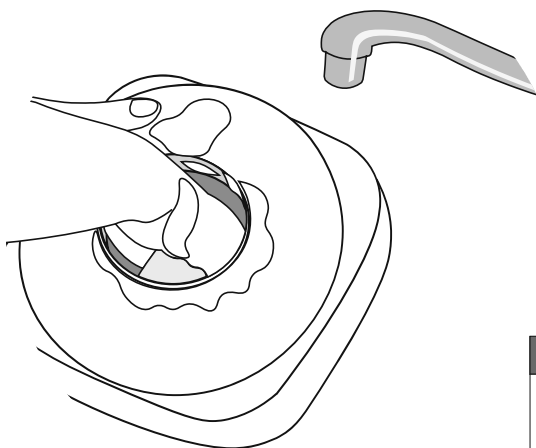


フィルター

△ 注意

取り外しの際は、爪剥がれにご注意ください。

- ⑥柔らかいスポンジまたは柄の付いたスポンジに食器洗剤を含ませてサブタンクを洗います。
すすぎの際は、洗剤が残らなくなるまで十分に洗い流してください。



フロート

△ 注意

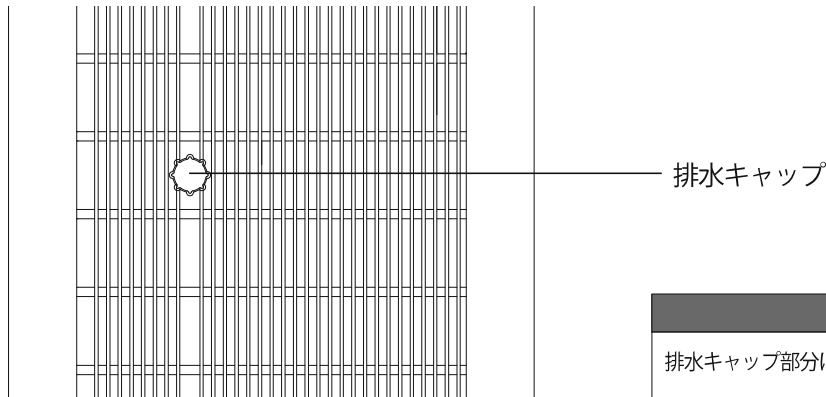
- ・内部に「フロート」という部品があります。フロートが損傷すると、水漏れに繋がる可能性があります。清掃時に強い力を加えないようご注意ください。
- ・フロート金属部分でケガをしないようご注意ください。

※再度取り付ける際は、P.7-③～P.8までの手順をご確認ください。

その他の注意点

温水タンク排水口の注意点

ウォーターサーバーの背面に排水口があります。
勢いよく熱い温水が出ますので、ご利用中は絶対に触らないようにしてください。



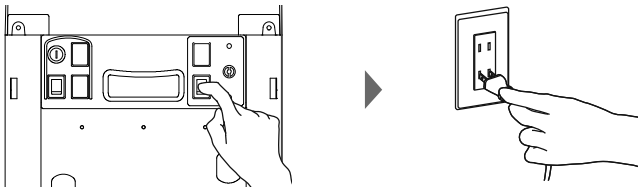
⚠ 注意

排水キャップ部分に触れることで、水漏れや火傷の危険性が高まります。

引越し時の水漏れを避けるための水抜き方法

タンク内の水を完全に抜く作業になります。
あらかじめ準備が必要になりますので、以下の手順でおこなってください。

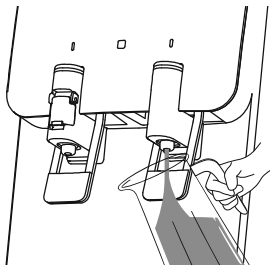
- ①温水スイッチを OFF にして、電源プラグを抜きます。
熱い温水を冷ますため6時間以上経過してから、②以降の作業をおこなってください。



⚠ 注意

水が勢いよく出ますので、大き目のバケツ (8L 以上) 等を利用して
ください。

- ②冷水コックから水を出し切ってください。



⚠ 注意

浄水タンクの水がなくなっていることを確認してください。

- ③ウォーターサーバー背面にある排水キャップと排水キャップ中栓を外して、水が出なくなるまで排水してください。



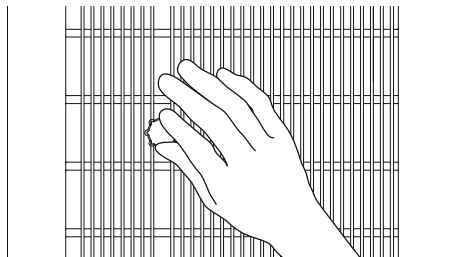
⚠ 注意

熱い温水が噴き出しますので、必ず温水を冷ました上でおこなってください。
※排水キャップ部は捨てたり、紛失しないようご注意ください。

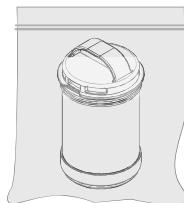
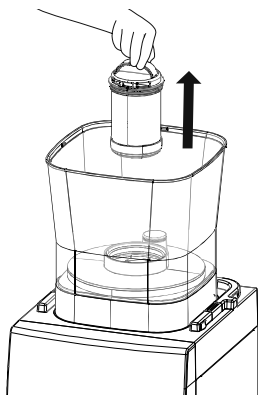
P.17 のつづきに進んでください。 ➡

その他の注意点(つづき)

④排水キャップ中栓と排水キャップをしっかりしめてください。



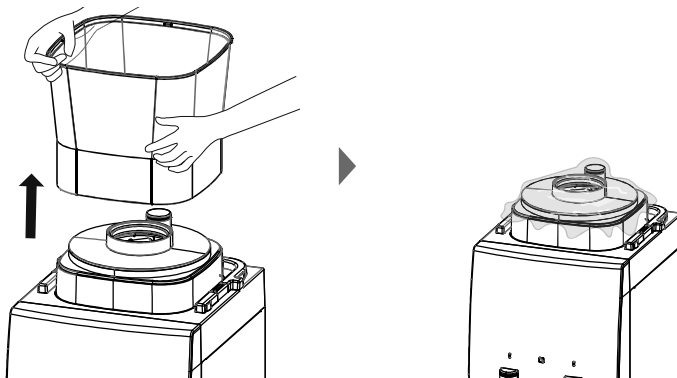
⑤浄水タンクから浄水カートリッジを取り外し、ジップ付き袋またはラップに包んで保管してください。



⚠ 注意

浄水タンク内に保管すると破損の恐れがあります。

⑥浄水タンクカバー・浄水タンク蓋・浄水タンクの3点を取り外し、サブタンクの上をラップ等で保護してからご移動ください。



※再度ご利用になる際は、P.7 **4-4**からの手順をおこない、温水コックからの出水を確認しましたら、排水キャップ部から水が漏れていないことを確認してください。

故障かな!?と思ったら

修理を依頼する前に次のことを確認してください。

症状	原因	対応
冷水・温水にならない	●電源プラグが抜けている。	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	●ブレーカーが落ちている。	●ブレーカーを入れてください。
	●ヒューズが切れている。	●ヒューズの交換については、P.19 下の問合せ先までご連絡ください。
温水のみ熱くならない (冷水は冷たい)	●背面の温水スイッチ(赤)が OFF になっている。	●温水スイッチを必ず ON にしてください。 ※温水スイッチが OFF のままですと、雑菌の繁殖等により不衛生になり臭いを発することがあります。
	●背面の温水スイッチ(赤)が ON になっているが、温水が出ない。	●P.19 下の問合せ先までご連絡ください。
	●エコモードが作動中。	●室内を明るくするか、エコモードスイッチを OFF にしてください。
エコモードにならない	●室内が明るい。	●室内を暗くしてください。 (ほぼ真っ暗な状態で作動します。)
	●エコモードスイッチが OFF になっている (緑ランプが点いていない)。	●エコモードを使用する際はエコモードスイッチを ON にしてください。(P.10 参照)
冷水・温水コックから水が出ない (出る量が少ない)	●タンク内に水がない。	●水道水を補給してください。
	●浄水カートリッジのフィルターが乾燥している。	●浄水タンクの蓋を外して、カートリッジを取り出し、約 10 分間水に浸してください。(P.7 4-2 を参照ください)
	●浄水カートリッジが古い。	●目詰まりしている可能性があります。 新しいカートリッジに交換してください。
水が漏れている ※水漏れが確認された場合、先ず電源プラグを抜いてください。 ●給水部分から水が漏れている。 ●本体の中から水が漏れている。 ●本体背面の排水キャップ部から水が出ている。	●サブタンクと浄水タンクの間隙がある。	●隙間を埋めるように浄水タンクをセットしてください。(P.7 4 参照)それでも水が漏れる場合は、P.19 下の問合せ先までご連絡ください。
	●内部からの水漏れ。	●冷水コックから水を全部抜き取り、P.19 下の問合せ先までご連絡ください。
	●排水キャップがゆるんでいる。	●排水キャップ部がゆるんでいる場合は、締め直してください。
	●コックからの水漏れ。	●P.19 下の問合せ先までご連絡ください。
浄水のおい・味がおかしい	●浄水カートリッジの交換時期が過ぎている。	●新しい浄水カートリッジに交換してください。
	●浄水カートリッジが汚れている。	
	●浄水タンクが汚れている。	●P.13【定期的な清掃のお願い】の浄水タンクの欄に従って洗浄してください。

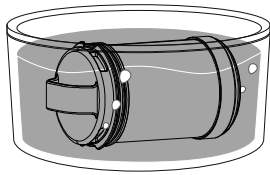
Q&A

Q1. ウォーターサーバーの設置場所はどこがいいですか？

A1. 床が丈夫で水平なところかつ、電源が確保できる場所をお願いします。
また、屋外や湿度が高くなる場所、不衛生な場所や熱源に近いところ、直射日光が当たる場所は避けてください。

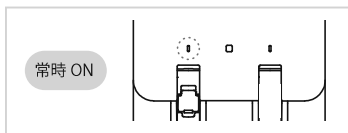
Q2. 新しい浄水カートリッジに交換したのですが、水が出ません。

A2. 浄水カートリッジを浄水タンクにセットする前に、約 10 分水道水に浸す作業はおこないましたか？
新しく開封した浄水カートリッジを水道水に浸す時間が短いと、ろ過スピードが遅くなる場合がございます。
そのまま、ろ過スピードが回復するまでご使用いただくか、カートリッジを取り外し、浸水作業をおこなってください。
P.11 の【浄水カートリッジの交換方法】をご参照ください。



Q3. 温水は利用しないので、
温水を OFF のまま使用することは可能ですか？

A3. 温水スイッチを OFF のまま使用すると、本体内部が不衛生となり雑菌によりにおいを発することがあります。必ず温水スイッチを ON のままにしてご使用ください。



Q4. 長期不在時の対処方法を教えてください。

A4. 電源と温水スイッチは切らないでください。
不在前には以下の手順をおこなってください。

- ① 浄水タンク内の水を空にする。
- ② 冷水コックから水を出し切る。
- ③ 浄水カートリッジを取り外し、ジップ袋等に入れ冷蔵庫に保管する。

再度ご使用前には、浄水タンク洗浄後 P.7 **4-2** からの初期設置をおこない、出水確認前に出水口付近を掃除してください。その際は、温水コック・冷水コックともに水が出ていることを確認し、コップ 2 杯程度を捨て水としてください。

Q5. 引越し時・移動時の対処方法を教えてください。

A5. あらかじめ準備が必要になりますので、以下の手順をおこなってください。

- ① 温水スイッチを OFF にして電源プラグを抜きます。
熱い温水を冷ますため 6 時間以上経過してから、
② 以降の作業をお願いします。
- ② 浄水タンク内の水を空にしてください。
- ③ 冷水コックから水を出し切ってください。
- ④ 浄水タンクカバーを固定し、出水口付近が接触しないようご注意ください。ウォーターサーバーを立てた状態で移動ください。

※更なる水漏れを避けるため、タンク内の水を完全に抜く方法は、P.16 の【引越し時の水漏れを避けるための水抜き方法】の手順で作業をおこなってください。
※再度ご利用になる際に新しい浄水カートリッジを使用する場合は、必ず P.7 **4-2** の準備からおこなってください。

故障かな!?! と思ったら (P.18) をよくお読みいただき、

再度ご確認の上でも不具合がある場合は、下記までご連絡ください。

Locca
カスタマーセンター  **0570-026-363**

営業時間：10:00 - 18:00 (年末年始は除く)